

テノール公開レッスン
Tenor Masterclass

11月24日(木)

18:00~

アーノルド・ベズイエン Arnold Bezuyen

東京音楽大学
中目黒キャンパス
TCM ホール



PROGRAM

通訳:小森輝彦 教授

我妻 直輝 (学部2年)
Naoki Wagatsuma

G. ヴェルディ/《シモンボッカネグラ》より
「Il lacerato spirit (哀れなる父の胸は)」

西野 佐和子 (修士2年)
Sawako Nishino

O. ニコライ/《ウィンザーと陽気な女房たち》より
「Nun eilt herbei (さあ、こちらへ急いできて)」

オランダのテノール。アムステルダム大学、アムステルダム・オペラスタジオで学んだ後、アウグスブルク歌劇場、ブレーメン歌劇場、ウィーン国立歌劇場と契約、『蝶々夫人』ピンカートン、『ナブッコ』イズマエーレ、『オテロ』カッシオ、『椿姫』アルフレードなどに出演。特に『ニーベルングの指環』ミーメ、『サロメ』ヘロデで成功を収め、重要なレパートリーとなる。

1998年にはバイロイト音楽祭にミーメ役でデビューし、同音楽祭へはその後15年間出演を続ける。2020年、22年にはバイロイト音楽祭に『ラインの黄金』『ジークフリート』ミーメで出演。

ほかに、オランダ国立オペラ、バルセロナ・リセウ大劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、英国ロイヤルオペラ、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、ナポリ・サンカルロ歌劇場、ウィーン国立歌劇場など世界の主要劇場に『ばらの騎士』テノール歌手、『フィデリオ』フロレスタン、『ボリス・ゴドゥノフ』シュイスキー、『アラベツラ』マツテオ、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ダーヴィット、『ラインの黄金』ローゲ、『ラインの黄金』『ジークフリート』ミーメなどで出演している。

問い合わせ先：国際交流センター
study_abroad@tokyo-ondai.ac.jp